

2020年度 特別研究推進費実績報告書

2021年 4月 30日

北九州市立大学長 様

(所属・職名) 基盤教育センター・教授  
(氏名) 浅羽 修丈

2020年度に交付を受けた特別研究推進費に係る研究実績について、  
次のとおり報告します。

研究課題名	ロジカル・シンキングを応用した課題に対する深い思考を促すワークシートの開発					
実施内容・研究成果の要旨 (概要書を別途添付)	<p>本研究の問いは、「どうすれば、学生は授業で示されたレポートの意図を汲み取り、思考を深めながら課題に取り組むようになるか」である。この問いには、近年の思考力重視の教育傾向があり、思考力の指導方法の開発もさることながら、レポートを通じた思考力育成にも注目するべきであるという背景がある。</p> <p>本研究では、この問いを解決するために、ロジカル・シンキングを基にしたレポートリフレクションワークシートを開発した。ワークシートは、①レポートのテーマや教員の意図を汲み取っているか、②結論はレポートのテーマや教員の意図に沿っているか、③結論を導き出した材料は妥当か、④結論を導き出す材料に漏れ落ちはないか、という4つの観点のリフレクションを促進することを要件として開発した。この4つの観点は、それぞれロジカル・シンキングのスキルをベースに構築している。すなわち、①は相手に伝えるべきメッセージのスキル、②は話の飛びをなくすSo What?の技術、③も同様に話の飛びをなくすWhy So?の技術、最後の④は話の明らかな重複・漏れ・ズレをなくすMECE (Mutually Exclusive and Collectively Exhaustive) の技術である。学生の負担を軽くする目的で、開発したワークシートはA4用紙1枚に収めるように工夫をした。</p> <p>開発したワークシートは、新型コロナウイルス (COVID-19) 感染症拡大の影響で、ビデオオンデマンド型の遠隔等授業の実施を余儀なくされたため、残念ながら実践的な教育場面で使用することができなかった。そのため、開発したワークシートの評価や学習効果を検証することができていない。この課題に関しては、本研究の執行期間を過ぎた後でも、引き続き研究を継続して解決していきたいと考えている。</p>					
	合計	使用内訳 (単位:円)				
交付決定額	591,700	備品費	消耗品費	報酬	その他	旅費交通費
支出額	389,993	220,800	159,193	0	10,000	0
執行残額	201,707					
共同研究者	所属・職名		氏名		役割分担等	